

地球温暖化って何？

どうして温暖化が起きるの？



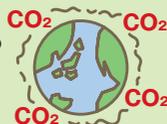
それは…

暮らしが便利で快適になる一方で、使うエネルギーの量も増えています。エネルギーを使う時に排出される二酸化炭素や、そのほかの温室効果ガス（フロンなど）の量も年々増えています。



そして、

温室効果ガスは、宇宙に放出されるはずの地上の熱をため込み、地球全体を温室のようにしてしまいます。



温暖化が進むとどうなるの？



たとえば、

地球が暖かくなると、南極やアルプスの氷が溶け出します。

それから…

海面の上昇による水没の危機、植生の変化や農業への打撃、熱帯の病原菌の北上など……。温暖化による影響はすでにあちこちで見られるようになっています。



それを防ぐにはどうしたらいいの？



温室効果ガスの中で一番多いのは二酸化炭素です。

その二酸化炭素の排出をおさえるために

エネルギーを節約したり、二酸化炭素を吸収してくれる森林を守る事が大事なんだね。



それでは、コスモ石油グループがどのような活動を行っているかを見てみましょう。

地球温暖化防止へ、私たちのアプローチ

私たちコスモ石油は、原油の開発からSS（サービスステーション）での販売にいたるすべての事業過程で、地球温暖化防止のための活動に取り組んでいます。同時に、石油事業の枠を超え、石油を使うお客様とともに、温暖化防止のための貢献活動を実施しています。また、石油を大切に使用していただきたいとの思いから、石油の「ノーブルユース（賢い使用法）」に向けた啓発活動も展開しています。

◎ 炎は消えた。CO2も消えた（ゼロフレアプロジェクト）

塔の上で激しく燃える炎とともに、大気中に排出されるCO2。これをなくすために、ガスを地下の油層に返すシステムを私たちは開発しました。炎が消え年間約20万トンのCO2削減につながっています。



◎ オーストラリアでの植林支援



オーストラリア南西部の5,100ha（山手線の内側の広さ）の荒野に、2001年、コスモ石油はCO2の排出権オプション契約を結んだユーカリの植林支援を始めました。2003年、この林が1年間に吸収した47,489トンのCO2を排出権として取得しました。

◎ 製油所でも、オフィスでも（省エネルギー活動）

製油所ではコージェネレーションシステムをはじめとするエネルギーの有効活用、運転管理の強化などで1990年度比で10.7%のエネルギー消費原単位を削減しました。本社オフィスでは消灯の徹底などで2002年度比約3%の省エネルギーを実現しました。



◎ お客様とともに（環境貢献活動・啓発活動）

地球規模での温暖化防止活動を、コスモ・ザ・カード「エコ」会員のお客様とともに進めています。また、消費者が温暖化について意識するきっかけになればと、CMなどの広告媒体やイベントを通して、意識啓発の取り組みも行っています。

※3～6ページをご参照ください。